

令和 2 年度 伊賀市地域包括支援センター事業実績

1) 総合相談支援事業

福祉の一次相談窓口として多様な相談を受けるとともに、関係機関と連携しながら、より詳細な情報収集を行い、必要な支援を行いました。支援の困難なケース等については、地域ケア会議や相談事案調整会議等の開催により関係機関との情報共有や具体的な支援の方法について検討しました。

●総合相談支援件数

	延件数	実件数	主な相談内容（延件数） * 重複あり								
			介護 保険サ ービス	高 齢 者 福 祉サ ービス	経 済 的 問 題	医 療	住 居	障 が い	虐 待 (疑 い 含む)	認 知 症	権 利 擁 護
中部	3,956	749	1,561	219	613	583	446	132	703	315	350
東部	1,733	296	793	335	271	545	78	90	151	278	158
南部	1,506	208	309	22	273	68	40	41	357	254	57
計	7,195	1,253	2,663	576	1,157	1,196	564	263	1,211	847	565
元 年度	7,845	1,206	2,676	760	1,653	1,709	890	109	1,495	1,103	339

2) 権利擁護事業

権利侵害の対象になりやすい高齢者に対し、権利侵害の予防や対応、本人が自分の意思を主張し権利行使ができるように支援を行いました。必要な福祉サービスや日常的な金銭管理について、適切に判断することに不安のある認知症高齢者が増加しています。成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用に繋げることで権利擁護に努めました。

また高齢者虐待の通報を受けた時は、速やかに事実の確認を行い、伊賀市高齢者及び障がい者虐待検討委員会に諮ったうえで、虐待解消に向けて支援を行いました。

〔養護者による高齢者虐待〕

●通報件数と通報者の続柄（H30～R2 年度）

年度	虐待通報 受理件数	通報者の内訳（重複あり）								
		本人	家族 親族	ケア マネ	サ-ビス 事業所	医療 機関	民生 委員	警察	行政 機関	その 他
H30	30	4	2	9	4	0	0	7	2	2
R1	33	2	2	9	0	3	1	8	4	4
R2	37	5	5	18	3	0	0	5	4	1

●虐待認定件数と虐待の種別（H30～R2 年度）

年度	虐待認定 件数	虐待の種別（重複あり）				
		身体的虐待	介護放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
H30	21	14	3	10	0	10
R1	28	20	10	17	0	11
R2	33	28	6	24	2	2

●被虐待者の性別（H30～R2 年度）

年度	被虐待者 人数	性別	
		男	女
H30	22	6	16
R1	30	6	24
R2	35	9	26

●虐待者の属性（H30～R2 年度）

年度	虐待認定 件数	虐待者の属性（重複あり）								
		夫	妻	息子	娘	息子の 配偶者	娘の 配偶者	兄弟 姉妹	孫	その 他
H30	21	2	2	8	4	5	0	1	2	1
R1	28	6	0	14	6	0	1	0	4	1
R2	33	9	3	15	4	3	0	0	2	2

●被虐待者に対する対応（H30～R2 年度）

年度	被虐待者 人数	分離の有無	
		分離	分離せず
H30	22	10	12
R1	30	6	24
R2	35	13	22

〔養介護施設従事者等による高齢者虐待〕

●通報受理件数と虐待認定件数、通報者の内訳（H30～R2 年度）

年度	虐待通報 件数	通報者の内訳（重複あり）						
		本人・ 家族	当該施設 職員	医療 機関	ケア マネ	介護 相談員	行政 職員	不明
H30	2	0	0	0	0	1	0	1
R1	2	0	1	0	0	0	1	0
R2	4	1	0	0	2	0	1	0

●虐待認定件数と虐待の種別（H30～R2 年度）

年度	虐待認定件数	虐待の種別（重複あり）				
		身体的虐待	介護放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待
H30	0	0	0	0	0	0
R1	1（1事業所）	1	0	0	0	0
R2	6（3事業所）	1	3	2	0	0

●高齢者及び障がい者虐待検討委員会開催回数（高齢者のみ）（H30～R2 年度）

年度	開催回数
H30	71
R1	103
R2	119

3）包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の様々な社会資源と連携し、途切れなく高齢者の生活支援が提供されるように努めました。また、地域のケアマネジャーが抱える支援困難事例の相談・助言やケアマネジメント実践のスキルアップのための研修会等を開催しました。

●ケアマネジャーを対象とした研修会の開催

開催日	内容	出席者数
12月15日	「伊賀市の認知症に対する取り組みについて」 ～認知症状のある方をどうサポートしていくか～ 伊賀市介護高齢福祉課、伊賀市地域包括支援センター	76人
3月19日	「高齢者うつ病への関わり」 ～死にたいという訴えにどう対応すべきか～ 一般財団法人信貴山病院分院 上野病院 平尾文雄院長	78人

●ケアマネジャーを対象とした事例検討会の開催

	開催日（2時間）	出席者数
第1回	6月17日	14人
第2回	8月19日	11人
第3回	10月14日	10人
第4回	3月23日	11人

4) 介護予防ケアマネジメント事業・介護予防支援事業

要支援認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者を対象に、ケアマネジャーによる介護予防支援プランの作成を行いました。サービスの利用により ADL の維持向上を図るとともに、住み慣れた自宅で自立した生活が送れるように支援をしました。月平均 236 件の介護予防プラン作成を居宅介護支援事業所に委託しました。

●介護予防ケアマネジメント、介護予防支援実施件数（R2年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
介護予防ケアマネジメント	338	348	344	336	339	341	333
介護予防支援	511	517	514	516	521	542	540

	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防ケアマネジメント	330	329	321	317	309	3,985
介護予防支援	544	558	553	570	570	6,456

5) 地域ケア会議等

支援の困難な事案や、課題解決のために多職種や多機関の連携が必要な事例が増加しています。地域ケア会議では、支援の困難な事例の課題を明らかにし、支援の方針や支援者の役割について検討をしました。会議の開催により支援者間の連携が進み、被支援者の権利擁護、自立支援に役立ちました。相談事案調整会議は、事例に関わる市役所内の各課の出席を基本としており、情報共有や支援の方針について話し合いの機会を持ちました。

●地域ケア会議等の開催回数（R2 年度）

地域ケア会議			相談事案調整会議
個別会議 （民協単位）	運営会議 （支所単位）	担当者会議 （全市単位）	
5 回	12 回	4 回	15 回

6) 一般介護予防事業

介護予防に関する知識の普及啓発のため、保健師による介護予防出前講座を実施しました。

また、住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的に、介護予防リーダーの養成を行いました。介護予防リーダー養成講座は全 15 回の連続講座ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止により途中で休止したため年度内に修了できず、令和 3 年度も講座を継続しています。

なお、修了生には各地域で介護予防に取り組んでいただくこととしており、修了者のためのフォローアップ教室を開催して、リーダーとしてのモチベーションの維持に努めました。

●介護予防出前講座（R2 年度）

	内 容	回数	受講人数
介護予防出前講座	老人クラブや地域の要請により、介護予防に資するテーマで講座を実施した。	35	659

●介護予防リーダー養成講座（R2 年度）

回数	受講実人員	講座修了者数
7 回	30 人	0

※新型コロナウイルス感染拡大防止により延期したため講座継続中

●介護予防リーダーフォローアップ教室（R2 年度）

回数	参加延人数
1 回	47 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止により 1 回のみの開催

●令和 2 年度末 介護予防自主グループ数

上野地区	島ヶ原地区	伊賀地区	阿山地区	大山田地区	青山地区
16	0	3	2	7	6

7) 認知症総合支援事業

認知症になっても安心して住み慣れた自宅で生活することができるよう、施策に取り組みました。

① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

●認知症サポーター養成講座、認知症ジュニアサポーター養成講座（R2 年度）

対 象	開催回数	受講者数
小学生（府中小、島ヶ原小、阿山小、神戸小、玉滝小）	5 回	101 人
高校生・学生（伊賀白鳳高校、岡波看護専門学校）	2 回	34 人
職域（第一生命株式会社）	2 回	36 人
一般住民	5 回	152 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止あり。

●キャラバンメイト連絡会（R2 年度）

活動日	内 容	出席人数
5 月 21 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
8 月 20 日	サポーター養成講座の準備・練習 伊賀市の認知症事業についての説明	9 人
11 月 19 日	サポーター養成講座の準備・練習 メイトによるサポーター養成講座開催報告など	9 人
3 月 18 日	勉強会について メイトいがの勉強会の反省 来年度の活動について	9 人

●認知症街頭啓発（R2 年度）

例年は街頭啓発として大型商業施設などで活動していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

②認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護サービスの提供

●認知症初期集中支援チームの活動（R2 年度）

認知症発症早期に適切な医療や介護サービスにつなげ、認知症の進行を遅らせ、住み慣れた自宅であるべく長く、その人らしく生活できるように支援しました。（チームは地域包括支援センター内に設置）

実支援人数 （人）	支援方法（延件数）					チーム員会議 開催回数（回）
	来所	訪問	電話	文書	その他	
8	14	43	164	6	1	11

●物忘れ相談プログラムを使用した早期発見（R2 年度）

実施回数	実施場所	相談者数	うち要フォロー者数
7 回	ハイトピア伊賀他	69 人	16 人

③認知症の人の介護者への支援

●認知症の人と家族の会つどい（R2 年度）

偶数月は伊賀市、奇数月は名張市で計 12 回開催。認知症の人とその家族が情報交換を行ったり、お互いの気持ちを聴き合う場としました。

開催場所	開催回数	参加人数
伊賀市（伊賀市役所）	4 回	19 人
名張市（名張市役所）	5 回	34 人

※新型コロナ感染拡大防止のため一部中止となりました。

●認知症カフェ（R2 年度）

認知症を理解するために、誰もが気軽に集まり、交流できる場を月 1 回開催しました。

開催場所	開催回数	参加人数
いがオレンジカフェ（ハイトピア伊賀）	6 回	20 人

※新型コロナ感染防止のため 9 月まで中止。10 月から開催場所を変更。

④認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

●認知症講演会&座談会（R2 年度）

若年性認知症の当事者がいつまでも自分らしく希望や自信をもって生活できる地域づくりが出来るよう学ぶ機会としました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため伊賀市公式 Youtube チャンネル「忍者市チャンネル」で動画配信しました。また Wi-Fi 環境の整わない方のために視聴会を開催しました。

日 程		場 所	対談「認知症、笑顔のままで」 講演「当事者とともにつくる 地域・社会」	参加人数 47 人
2 月 15 日（日）	13：30～15：00	青山福祉センター		
2 月 16 日（火）	10：00～11：30	いがまち保健福祉センター		
2 月 20 日（土）	10：00～11：30	市役所本庁舎		

●認知症声掛け見守り訓練（R2 年度）

認知症声掛け見守り訓練は、認知症の高齢者役の人に参加者が実際に声掛けを行い、どのように見守り、声掛けをすれば安心してもらえるか、安全に誘導ができるかを体験していただく訓練です。令和 2 年度は新型コロナ感染拡大防止のため実施できませんでした。

令和3年度 伊賀市地域包括支援センターの取り組み

1) 高齢者保健事業と介護予防の一体的実施

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業との一体的実施に取り組みます。

次の3つの目的の達成に向けた事業を行います。

- ①フレイルを予防し、健康寿命の延伸と要介護への遅延を図ること
- ②生活習慣病等の重症化を予防し、自立した生活を支援すること
- ③社会参加をすることで、閉じこもりやうつを予防すること

高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）として、低栄養を防止しフレイル状態から要介護への移行を予防するため、医療専門職が訪問して、栄養、疾病、口腔、服薬などの相談・指導を行うことや、運動機能の低下予防と健康寿命の延伸、介護状態への遅延を目的に、運動を中心とした介護予防（筋力維持・向上）の集団指導、生活不活発発病の原因ともなる腰痛、膝痛などの予防、管理栄養士による栄養・食事指導の実施、糖尿病重症化予防のための受診勧奨や保健指導、閉じこもりや精神疾患、セルフネグレクトのリスクの高い高齢者の状態把握と必要なサービスへつなぐための支援などを行います。

通いの場などへの積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）として、既存の介護予防サロン等でのフレイル予防の啓発活動や、下肢筋力の維持向上のための運動メニューの提案などを行います。また、地域と協働して「気軽に通える場」の創設に向けて取り組んでいきます。